



説教要旨 「あなたがたに平和があるように」

ヨハネによる福音書 20 章 19～23 節

なにかと不安の中にある私たちですが、今日の聖書の個所に描かれている、イエス様の弟子たちも大きな不安の中がありました。彼らはイエス様を十字架に架けたユダヤ人たちが自分たちをも捕らえに来るのではないかと恐れて、戸に鍵をかけて家に引きこもっていたのです。すると、そこへイエス様が現れ、弟子たちの真ん中に立って、「あなたがたに平和があるように。」と言われたのです。そしてイエス様は「父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす。」と、この弟子たちを用い、派遣することを宣言されたのです。

イエス様を裏切り、この世の力に震え上がり、鍵をかけ閉じこもっている。そんな弟子たちのなかに復活されたイエス様が表れ、「あなたがたに平和があるように」と語り掛けてくださった。「裏切り者たちがおびえてる。いい気味だ。」ではなく、「あなたがたに平和があるように」と、この裏切り者の弟子たちの平和を、願ってくださっているのです。弟子たちはこの言葉によって、イエス様が自分を許してくださっていることを知り、イエス様によって罪を赦された者として、今度は罪を赦す者として遣わされて行ったのです。

この世界は今、恐怖に支配されています。この場面の弟子たちと同じように、家に閉じこもって脅えるばかりです。テレビを見ては、頓珍漢な政治家や街を出歩く人たちに怒っている。そんな私たちです。ウィルスへの恐れ、他者への怒りによって、私たちは分断の危機に晒されています。人とのつながりだけでなく、神さまとのつながりまでも失われそうになっています。そんな私たちの所に、イエス様は来てくださって、「あなたがたに平和があるように」と願ってくださっているのです。イエス様は私たちに、赦せない相手を赦せなどと命じてはおられません。赦せないものは赦せないのだからどうしようもない。ただそのような時に、どうか思い起こしていただきたい。赦せない思いに囚われ、平和を失っている私たちのために、イエス様が「あなたがたに平和があるように」と願ってくださっていることを。